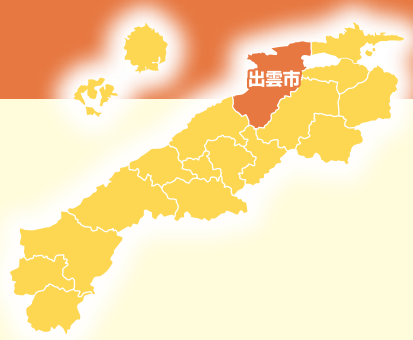


しまね東日本大震災被災者支援推進協議会

事業名●東日本大震災被災者支援事業

事業概要

1．被災者支援のための連携協働体制の構築、ミーティングの開催等

①いずも支援ミーティングの開催
・各団体・機関・企業・個人との情報交換

②県内支援
・生活支援（物品提供）　・メンタルケア（花見会、子どもの日、母の日、畑作り）
・情報紙（までえ通信）発行　・チャリティバザー　・募金活動
・各種案内とイベント招待情報提供
・出雲市民ボランティアウィーク「まちサポ」いずもと共催

③被災地支援
・各地でのボランティア活動、調査（第1次派遣、第2次派遣、第3次派遣など）
・在住外国人支援　・支援物資輸送
・避難所支援（プライベートスペース「ささやか安心空間」の設置、心のケアイベント）

2．被災者支援活動の情報収集と発信

・現地調査事業を実施（災害ボランティア派遣先の選定など環境整備）
・ブログや活動紹介パネルによる情報発信

3．島根県の防災や災害時の連携協働体制の構築

①情報交換と連携
・松江市民から支援する会への参加と協力　・支援ヒアリングの開催

②島根県のボランティア・ＮＰＯ等の県内外災害時支援活動の仕組づくり・人材育成
・災害ボランティア活動・防災啓発　・防災訓練　・ボランティアコーディネート力検定

組織体制

しまね東日本大震災被災者支援推進協議会

- 出雲市総合ボランティアセンター運営委員会（事務局）
- 島根県 NPO活動推進室
- 出雲市 市民活動支援課
- 島根県社会福祉協議会
- 出雲市社会福祉協議会

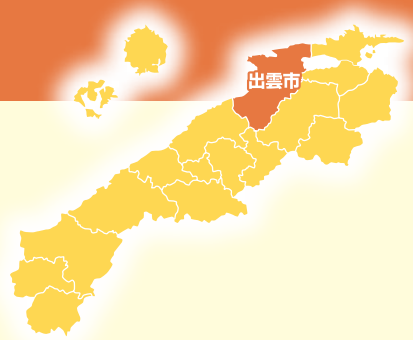
連携

東日本大震災いずも支援チーム

- 出雲市総合ボランティアセンター運営委員会
- 社団法人　出雲青年会議所
- 災害被災者を支援する「いずも」の会
- 東友会
- 島医支援の輪
- NPO法人エスペランサ
- 出雲スマイルメーカー
- 出雲の神芝居一座
- 出雲山の会
- 東日本大震災避難生活スタート支援しまね
- TICO学生ボランティア島根大学医学部チーム
- 株式会社　つみっく
- 個人
- ほか多数

［連携している被災地の団体］
・亘理町災害ボランティアセンター［宮城県亘理町］
（現在は亘理ささえあいセンター「ほっと」）
・NPO法人 亘理いちごっこ［宮城県亘理町］
・国際交流協会わたり［宮城県亘理町］

［連絡先］
出雲市総合ボランティアセンター
TEL 0853-21-5400　FAX0853-21-1831
Mail:　izuvolun@mx.miracle.ne.jp
URL　http://fish.miracle.ne.jp/izuvolun/



しまね東日本大震災被災者支援推進協議会

事業名●東日本大震災被災者支援事業

○被災者支援　～被災地支援～

先　遣　隊

■東日本大震災いずも支援チームとは？

今年3月11日に発生した東日本大震災で被災地の方々の為に出来ることをしようという一人一人の気持ちから個人・団体ボランティアが参加し、東日本大震災いずも支援チームが生まれました。
チームは現地で家の瓦礫の撤去や、泥のかきだしをする作業班と現地の災害ボランティアセンターを訪問し、情報の収集、交換をする調査班、そして作業班、調査班を支援する後方支援班で組織されています。

■活動期間：
平成23年４月24日（日）～28日（木）

■活動場所：宮城県石巻市ほか

■参加人数：９名

■活動内容

1）調査班
①災害ボランティアセンター訪問調査
女川町、東松島市、亘理町、岩沼市、名取市、塩竈市、多賀城市、七ヶ浜町
②避難所（逢隈小学校）訪問
→「ささやか安心空間」の使用調査
→更衣室やクローゼット、インターネットスペースとして利用
③宮城県災害ボランティアセンター訪問
県社協ボランティアセンターミーティング参加
2）作業班
・石巻災害ボランティアセンター本部にてボランティア登録
・被災した家屋の泥と瓦礫の撤去（2日間）

■報告書より感想

・津波によって被害にあったお宅の家屋清掃をした時、大切にされていた多くのものを処分しなければならず、とても心が痛みました。家の方はボランティアの方にとても気を使っておられましたが、明るく接してくれました。手がつけられていない地域もあり、復興するまでに長い期間での支援が必要だと改めて感じました。

２　次　隊

■活動期間：
平成23年６月17日（金）～21日（火）

■活動場所：宮城県亘理町、石巻市

■参加人数：６名

■活動内容

1）作業班
・亘理町災害ボランティアセンターにてボランティア登録
・被災した家屋の泥と瓦礫の撤去
・分譲住宅地の溝掃除
2）調査班
①蔵王町「ふらっとーほく」現地訪問
→「ふらっとーほく」松島さんと面談
②亘理いちごっこ訪問
→出雲市民の方々より寄せられた千羽鶴とメッセージフラッグを提供
③石巻市飯野川第１小学校避難所聞き取り調査
→「ささやか安心空間」は頻繁ではないが使用されているとのこと
④石巻市中里小学校避難所聞き取り調査
→「ささやか安心空間」は好評で主に女の子たちが利用しているとのこと
⑤石巻市立釜小学校避難所聞き取り調査
→「ささやか安心空間」は立派すぎて使いづらいとのことで利用されていない

■報告書より感想

・実際に自分の目で被災地を見ることができたことが貴重な経験になりました。頻繁に現地に赴くことは難しくとも、まだまだ続く支援活動に微力ながら参加していこうと思っております。
・今後の支援としては、現地との直接的な支援ルートを確保し、何が必要かを調査し、それに基づいて行動を起こすのが良いと思います。

３　次　隊

■活動期間：
平成23年８月10日（水）～14日（日）

■活動場所：宮城県石巻市、亘理町

■参加人数：９名

■活動内容

①亘理町災害ボランティアセンター訪問
②亘理いちごっこ訪問
→KENN'Sによる演奏
→出雲の神芝居一座による紙芝居
→支援物資の提供
③石巻市萩浜小学校訪問
→支援物資の提供
④石巻市中里小学校訪問
→スリット溝付き十字型ブロック（つみき）の提供、実演
→出雲の神芝居一座による紙芝居
→KENN'Sによる演奏
⑤石巻市内被災地、仙台空港周辺、亘理町視察
⑥災害ボランティア活動支援プロジェクト会議、山下さん（日野ボランティア・ネットワーク）と面談

■報告書より感想

・子どもたちは楽器に興味を示し、演奏体験や音楽に合わせて踊るなど、積極的に聴いてくれていました。大人の方たちは懐メロや童謡を口ずさんだり、涙されたりしていました。
・演奏の後に現地の方が笑顔で話しかけてくれた時、笑顔が出せるまでどれだけつらい思いと戦い、どれだけ涙をながしたのだろうと瞬時に深い思いになりました。
・避難所の中は仲の良い地区のようにまとまりがあり、仮設住宅に移った時、孤独を感じたりしないだろうかという部分が気にかかる。

中里小避難所にてつみき

石巻市の被災のあったお宅の泥と瓦礫などの撤去

中里小避難所にて演奏

中里小学校に設置してある「ささやか安心空間」

女川町の様子

飯野川第１小学校

仙台空港より海側の様子

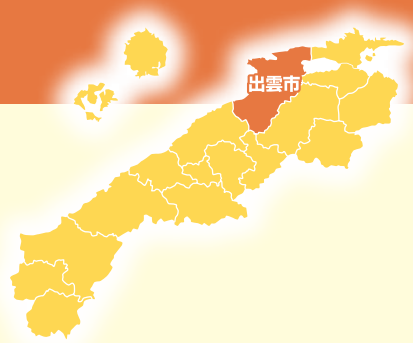
石巻災害ボランティアセンターにてボランティア登録

亘理いちごっこでの紙芝居

避難所の「ささやか安心空間」

亘理いちごっこ

海岸付近の様子



しまね東日本大震災被災者支援推進協議会

事業名●東日本大震災被災者支援事業

○被災者支援 ～島根県へ避難して来られた方々への支援～

■東日本大震災被災者支援のためのミーティングの開催

東日本大震災直後の3月16日に第1回ミーティングを開催。月に1～2回程度を開催しており、12月末時点で17回開催した。

また、3月16日から出雲市への避難者支援についての相談を開始し、17日から避難者の方々へ生活物資の収集と提供を行った。

■フリーマーケットを共催

「東日本大震災避難生活スタート支援しまね」による「おすそわけ市」を5月29日に行った。当日はフリマの他にマッサージなどのブースや飲食、音楽ステージのブースがあり、たくさんの方に来場していただき賑わった。

■花見会などを共催

「出雲スマイルメーカー」により出雲市への避難者の方々を招き、4月9日に「だんだん花見会」を行った。50名の参加があり、桜の木の下で和やかに花見をした。

また、5月5日には避難している子どもたちを対象に「母の日の贈り物作り」も行った。

■「までえ通信」の発行

6月からは、被災者支援を目的に発足した「出雲スマイルメーカー」が、被災者への情報提供を目的とした情報紙「までえ通信」を編集・発行している。12月末までにで第6号まで発行した。

■その他の活動

5月からは、様々な団体が企画するイベントの開催案内・招待を出雲市内へ避難して来られた方々に対して行っている。

○支援活動のための情報収集・発信、災害に備えた連携協働体制の構築など

■被災地へ派遣した調査員の活動報告会

7月6日の「第10回東日本大震災被災者支援のためのミーティング」では、いずも支援チームの一員として宮城県亘理町災害ボランティアセンター支援と現地調査に携わった大貫陽平氏の活動報告会を開催した。

■出雲市民ボランティアウィークの協働開催

11月に出雲市民ボランティアウィークを協働開催し、今年は初日（19日）と最終日（26日）に震災に関する2回のイベントを実施した。

○11/19　宮城県亘理町災害ボランティアセンターより講師として育村由仙氏を招き、講演会を開催し、がれきの撤去や側溝の清掃などの取り組みの紹介や復興への熱い想いを語っていただいた。

○11/26　フリーマーケット、バザー、ライブ、小中学生や一般からの応援メッセージ・川柳・イラスト展示、東北でのボランティア活動の紹介、物品販売、国土交通省東北地方整備局の東日本大震災パネルの展示など行った。

■小中学校、自治会等に対する普及啓発

小中学校の授業や自治会・民生児童委員の研修会などで、被災者支援についての活動紹介や啓発を行っている。

■他地域で活動する支援団体との連携

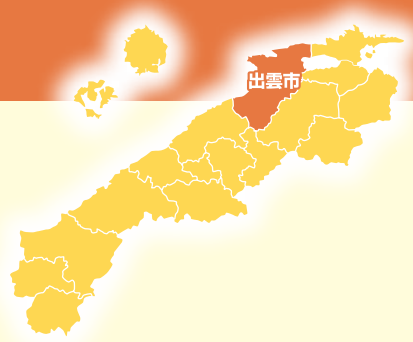
7月下旬より、「松江市民から支援する会」と情報交換と連携を開始し、12月には益田市市民活動センター「スマイルデスク」にて益田市・益田市社協・NPO等と情報交換を行った。

■支援物資関係のボランティアコーディネート

3月に出雲市が行った上田コールドでの支援物資受け取りには多くの市民が物資を持ち寄られ、たくさんのボランティアの方々をコーディネートし仕分けや積み込みを行った。

また、出雲青年会議所と連携し、簸上トラック物流倉庫でも支援物資の受付などにボランティアの方々が参加した。

その他、200件以上の物資提供や支援金などの申し出があり、被災地の災害ボランティアセンターやＮＰＯなどと連携し支援物資の提供、輸送などを現在もコーディネートしている。



しまね東日本大震災被災者支援推進協議会

事業名●平成24年度 東日本大震災被災者支援事業

事業概要

1．被災者支援のための連携・協働体制の構築、ミーティングの開催等

①いずも支援ミーティングの開催
- 各団体・機関・企業・個人との情報交換

②県内支援
- 生活支援（物品提供）・募金活動
- 各種案内やイベント招待などの情報提供
- 避難所体験プログラムと共催
- 出雲市民ボランティアウィーク「まちサポ」いずもと共催

③被災地支援
- 各地での災害復興ボランティア活動、調査（平成23年度に引き続き、随時）
- イベント支援（わたりHome Coming Dayの運営スタッフやいずも支援チームブース出店)
- 仮設住宅支援　・支援物資輸送

2．被災者支援活動の情報収集と発信

- 現地調査事業を実施（災害ボランティア派遣先の選定など環境整備）
- ブログや活動紹介パネルによる情報発信

3．島根県の防災や災害時の連携・協働体制の構築

①情報交換と連携
- 松江・島根支援協議会と協力　・支援ヒアリングの開催

②島根県のボランティア・ＮＰＯ等の県内外災害時支援活動の仕組づくり・人材育成
- 災害ボランティア活動　・防災啓発　・防災訓練　・ボランティアコーディネーション力検定

組織体制

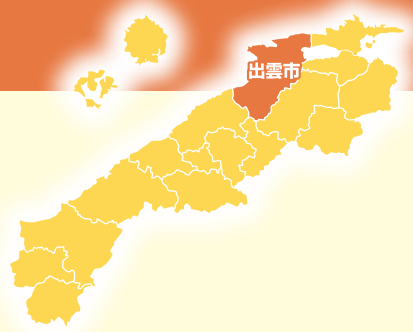
しまね東日本大震災 被災者支援推進協議会
- 出雲市総合ボランティアセンター運営委員会（事務局）
- 島根県 NPO活動推進室
- 出雲市 市民活動支援課
- 島根県社会福祉協議会
- 出雲市社会福祉協議会

連携

東日本大震災 いずも支援チーム
- 出雲市総合ボランティアセンター運営委員会
- 社団法人　出雲青年会議所
- 災害被災者を支援する「いずも」の会
- 東友会
- 島医支援の輪
- NPO法人エスペランサ
- 出雲スマイルメーカー
- 出雲の神芝居一座
- 出雲山の会
- 東日本大震災避難生活スタート支援しまね
- TICO学生ボランティア島根大学医学部チーム
- 株式会社　つみっく
- 個人
- ほか多数

［連携している被災地の団体］
- 亘理ささえあいセンター「ほっと」［宮城県亘理町］（亘理町社会福祉協議会）
- NPO法人 亘理いちごっこ［宮城県亘理町］

［連絡先］
出雲市総合ボランティアセンター
TEL 0853-21-5400　FAX 0853-21-1831
Mail:　izuvolun@mx.miracle.ne.jp
URL　http://fish.miracle.ne.jp/izuvolun/



しまね東日本大震災被災者支援推進協議会

事業名●平成24年度 東日本大震災被災者支援事業

○被災者支援 ～被災地支援～　個人やグループの活動を支援

■仮設住宅支援活動［ともだちネットワーク］

・活動期間：平成24年４月２日(月)～５日(木)
・活動場所：宮城県南三陸町
・参加人数：５人
・活動内容：
　支援の行き届いていない小規模の仮設住宅へ和太鼓の披露や出雲ぜんざい、珈琲を提供し、交流した。
　避難生活でのストレス緩和につながるのではないかと感じた。

■いずも支援チーム 紙芝居ライブと支援物資の提供［東日本大震災避難生活スタート支援しまね］

・活動期間：平成24年４月16日(月)～20日(金)
・活動場所：宮城県気仙沼市、亘理町、
　　岩手県陸前高田市
・参加人数：４人
・活動内容：
　保育所、放課後児童クラブ、仮設住宅にて紙芝居ライブを行った。
　支援米を輸送し、提供した。

■除染ボランティア活動

・活動期間:平成24年４月28日(土)～５月１日(火)
・活動場所:福島県福島市
・参加人数:３人
・活動内容:
　東部地区において除染活動および清掃活動。
　「除染ボランティアガイドライン」の作成に関わった。

■飛べ!!ブーメラン竹とんぼ!!活動

・活動期間：平成24年６月１日(金)～３日(日)
・活動場所：宮城県気仙沼市
・参加人数：２人
・活動内容：
　ブーメラン竹とんぼを被災地の子供たちに届け、一緒に触れ合うことで子供たちや地域の方に楽しんでもらった。

■福興浜団支援活動調査

・活動期間：平成24年７月13日(金)～17日(火)
・活動場所：福島県南相馬市
・参加人数：２人
・活動内容：
　福興浜団への取材協力と避難者支援。
　福島県より出雲市に避難され、帰郷された方々の現状調査。

■いずも支援チーム わたりHomeComingDay支援活動

・活動期間：平成24年８月３日(金)～６日(月)
・活動場所：宮城県亘理町
・参加人数：５人
・活動内容：
　運営スタッフや出雲茶屋を出店。
　出雲ぜんざいや縁結びコーヒーを提供した。

○支援活動のための情報収集・発信、災害に備えた連携協働体制の構築など

講演会・意見交換会の実施や協力

■5月:宮城県気仙沼市立内の脇保育所
林小春元所長、畠山哲子元主任保育士
出雲市保育園協議会の総会での講演協力
「保育所が被災して」

■5月:NPO法人亘理いちごっこ代表
馬場照子氏
出雲市内コミュニティセンターとの連絡会で講演
「東日本大震災の経験をとおした地域防災について」

■7月:亘理ささえあいセンター「ほっと」
元亘理町災害ボランティアセンター長
佐藤寛子氏
多伎地区協議会での講演協力
「いま地域の防災を見つめ直そう！」

■避難所体験プログラムを共催

・開催日時：平成24年６月23日(土)～24日(日)
・開催場所：出雲市 鳶巣コミュニティセンター
・内　　容：
①市民の防災意識を高める
②災害時のシュミレーションとしての成果や課題の検討を行う。

・感想より：
　ハイゼックスやアルファ化米の作り方に興味がわきました。また、食事も非常食には様々なものがあることを知りました。もっといろいろな防災グッズを知りたいと思いました。１日限りの宿泊でしたが、周囲が気になったり、いくらダンボールなどを敷いてもかたかったりして寝にくかったので、これが何日も続くと辛いと本当に思いました。

■「いずも支援チーム」の組織化

　情報交換や支援を行うネットワーク体である「東日本大震災いずも支援チーム」を組織化し、東日本大震災のみではなく今後起こりうる災害にも対応をしていく。
　今年度はそのための体制づくりを行う。